

6. アンケート調査票様式

帰国隊員の方へのアンケート

本アンケートは、今後のJICAの青年海外協力隊事業の改善に役立てるためのものです。ご協力よろしくお願いたします。

0. ご自身についてお答えください。

(1)お名前	
(2)派遣国	① マレーシア ②メキシコ ③タイ ④ブルガリア ⑤ハンガリー 派遣された地域について次の選択肢の中から該当するものを選択して下さい。 (1-1 首都 1-2 地方都市 1-3 農村) 更に派遣国が①の方は、次の設問にもお答え下さい。(2-1 半島部 2-2 島部)
(3)職種	次の選択肢に該当するものがある場合は、該当するものに○をつけて下さい。 該当するものがない場合には、()の中に職種を記入してください。 ① 日本語教師 ②スポーツ ③社会福祉 ④環境 (職種名:) * ③社会福祉は養護、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、義肢補装具作成、 針灸マッサージ士を、④環境は生態学、生態調査、植林、昆虫学、植物学、環 境教育を指します。
(4)隊次	
(5)配属先	
(6)前任者の有無	① 有 ② 無
(7)他の隊員・専門家の有無	① 有 ② 無
(8)他ドナー協力の有無	① 有 ② 無
(9)派遣前の同種の業務経験	① 無 ② 有(1~3年) ③ 有(3~6年) ④ 有(6年以上)
(10)活動形態	① 本庁勤務型 ② 教室型 ③ 試験場型 ④ 現場勤務型 ⑤ 村落型 ⑥ その他 ()
(11)派遣先での位置付け	① 指導型 ② 共同活動型 ③ マンパワー提供型
* ご自身の派遣分野の活動を知る上で参考となる資料があれば、お知らせ下さい。	

1. 目標達成度

(1) 当初の活動計画からみて、活動目標はどの程度達成されたと思われますか？最も適切なものにレをつけて下さい。ここでは、活動によってカウンターパート（以下C/Pとする）、配属先、また近隣コミュニティなどに生じた良い変化（例えば、勤労意欲の向上、手洗いの習慣化など）も含めて考えて下さい。

- [] 非常に達成されている(9割以上)
- [] かなり達成されている(8割以上)
- [] 概ね達成されている(7割以上)
- [] あまり達成されていない(6割以上)
- [] 達成されていない(6割未満)

(2) (1)のように判断したのはなぜですか？できるだけ具体的な活動例を挙げて説明して下さい。
(以下、記述式の設問には2-3行程度でお答えください。)

(3) (1)のような達成度になった理由は何だと思えますか。活動を促進（促）、又は阻害（阻）する事柄があれば次の選択肢の中から該当するものに○をし、簡単に説明して下さい。

- ① 技術的な要素 (促/阻)
 ()
- ② 協力隊への配属先の理解 (促/阻)
 ()
- ③ JICAのサポート体制 (促/阻)
 ()
- ④ 人間関係的な要素 (促/阻)
 ()
- ⑤ 財政的な要素 (促/阻)
 ()
- ⑥ その他 (促/阻)
 ()

2. 計画の妥当性

(1) 隊員に対する配属先のニーズは高かったですか？

- 非常に高かった
- 高かった
- あった
- 低かった
- 非常に低かった

・ そのように判断した理由は何ですか？

(2) ご自身の職種と配属先の求める技術の種類とは一致していましたか？

- 完全に一致していた
- ほぼ一致していた
- 特に支障はなかった
- あまり一致していなかった
- 全く一致していなかった

・ そのように判断した理由は何ですか？

(3) ご自身の職種と配属先の求める技術のレベルとは一致していましたか？

- 完全に一致していた
- ほぼ一致していた
- 特に支障はなかった
- やや高かった 又は やや低かった

高かった 又は 低かった

・ そのように判断した理由は何ですか？

(4) 着任当初、配属先には隊員の活動計画や役割分担などについて明確な考え・認識がありましたか？

明確なものがあった

ある程度はあった

あった

あまりなかった } ※

全くなかった }

・ ※の2つの選択肢を選んだ方に伺います。具体的にどのような状況でしたか？

(5) 隊員の派遣時期は適当でしたか？

非常に良いタイミングであった

良いタイミングであった

特に支障はなかった

遅れがあった 又は 早かった

非常に遅れた 又は 非常に早かった

・ そのように判断した理由は何ですか？

(6) 隊員の活動期間として2年間は適当でしたか？

適当であった

少し長かった 又は 少し短かった

長かった 又は 短かった

かなり長かった 又は かなり短かった } ※

非常に長かった 又は 非常に短かった }

・ そのように判断した理由は何ですか？

(7) 配属先は、後任の隊員を要請しましたか？

① 要請した

② 要請しなかった

(理由：

)

(8) ご自身は、後任は派遣すべきだと思われましたか？

派遣が不可欠である

派遣が望ましい

どちらともいえない

派遣しなくても良い

派遣すべきでない

- ・ そのように判断した理由は何ですか？

3. 効率性

(1) C/Pの人数は適当でしたか？

- ・ 実際に配置されたC/Pの人数は、隊員ご自身が技術移転を効果的に進めるのに

- 全く過不足なかった
- ほぼ過不足なかった
- 特に支障はなかった
- 過剰であった 又は 不足していた
- 非常に過剰であった 又は 非常に不足していた

】※

- ・ ※の2つの選択肢を選んだ方に伺います。なぜC/Pの適切な配置が行われなかったと思いますか？

(2) 着任当初、協力活動のベースとなるC/Pの知識・経験・能力は高かったですか？

- 非常に高かった
- 高かった
- 特に支障はなかった
- 低かった
- 非常に低かった

(3) 活動開始から終了までの間に、C/P又は配属先の知識・経験・能力はどの程度向上しましたか？

- 非常に向上した
- かなり向上した
- わずかに向上した
- 変わらなかった
- むしろ低下した

- ・ 技術協力を促進、又は阻害した要因は何だと思えますか？

4. インパクト

(1) 隊員としての活動経験は、ご自身の技術分野、又は国際協力における広い意味でのスキル（任国に対する理解、言語能力、コミュニケーション能力など）を向上するのに役立ったと思えますか？

- 非常に役立った
- かなり役立った
- わずかながら役立った
- あまり役立たなかった
- 全く役立たなかった

(2) (1)のように判断したのはなぜですか？できるだけ具体的な例を挙げて説明して下さい。

(3) 協力隊での経験は帰国後、進路（例えば就職や進学、結婚、課外活動など）に影響を及ぼしていますか？

- 非常にポジティブな影響が出ている
- かなりポジティブな影響が出ている
- 影響は出ていない
- ネガティブな影響が出ている
- 非常にネガティブな影響が出ている

・影響が出ている方に伺います。それは具体的にはどのような影響ですか？

(4) 帰国後、派遣国又は国際協力について紹介するような活動を実施していますか？

- 非常に積極的に実施している
- かなり積極的に実施している
- 機会があれば実施している
- ほとんど実施していない
- 全く実施していない

・その活動は、具体的に何ですか？

(5) 帰国後、派遣国の人々と交流が続いていますか？

- 非常に積極的に交流している
- かなり積極的に交流している
- 交流している
- ほとんど交流していない
- 全く交流していない

・交流が続いている方は、具体的にどのような交流をしていますか？

(6) 派遣中に、派遣国において日本について紹介するような活動を行いましたか？

- 非常に積極的に行った
- かなり積極的に行った
- 多少は行った
- ほとんど行わなかった
- 全く行わなかった

・活動を行った方は、具体的にどのような活動を行いましたか？また、どのような影響・反響

がありましたか？

(7) 隊員としての活動は、自己の成長につながったと思いますか？

- 非常に成長したと思う
- かなり成長したと思う
- 成長したと思う
- ほとんど成長しなかった
- 全く成長しなかった

・ このように考える理由は何ですか？ 具体例があれば挙げながら説明してください。

5. 自立発展性

(1) 隊員としての活動により配属先やC/Pの技術が向上し、今後自分たちで活動を継続していくことができると思いますか？

- 技術レベルが向上し、自分たちで活動を継続できる
- 技術レベルが向上し、部分的には自分たちで活動を継続できる
- 技術レベルは向上したが、自分たちで活動を継続するには不十分
- 技術的にあまり向上しなかった
- 技術的には全く向上しなかった

(2) 隊員としての活動により配属先やC/Pの勤務姿勢や組織体制が向上し、今後も継続されていくと思いますか？

- 勤務姿勢や組織体制が向上し、今後も継続されると思う
- 勤務姿勢や組織体制が向上し、部分的には今後も継続されると思う
- 勤務姿勢や組織体制が向上したが、継続されるかどうかは疑問
- 勤務姿勢や組織体制はあまり向上しなかった
- 勤務姿勢や組織体制は全く向上しなかった

6. 協力隊活動の運営管理

配属先のC/Pとのコミュニケーションはいかがでしたか？

- 頻繁に行った
- しばしば行った
- 特に支障はなかった
- やや不足していた
- 不足していた

7. 総括

最後に隊員活動の経験から今後も青年海外協力隊事業においてする方がよいこと、或いはすべきではないことを一言ずつ教えてください。

- ・ する方がよいこと ()
- ・ するべきでないこと ()

ご協力ありがとうございました。

Questions to Organizations which Have Received JOCV

This questionnaire asks about your organizations experience on receiving and working with Japan Overseas Cooperation Volunteers, hereinafter referred to as JOCV. The results will be used for evaluating the JOCV work by now and improving its effectiveness and efficiency.

It is very much appreciated if you could answer the following questions. Counterpart personnel, hereinafter referred to as C/P, who actually worked with JOCV is most desirable to answer, if possible. Please fill the following questionnaire for EACH JOCV whose name is given on the attached name list, individually.

In addition, please note that your responses in the questionnaire are fully confidential.

For returning this questionnaire, please post or facsimile it to JICA Malaysia Office by **7 March, 2001.**

JICA Malaysia Office Suite 29.,2, Level 29, Manara Citibank, 165 Jalan Ampang, 50450 Kuala Lumpur Tel: 3-21668900 Fax: 3-21665900

*Thank you for taking your time in your busy schedule.
Your cooperation is very much appreciated.*

Please answer the following questions for each JOCV whose name is given on the attached name list. Name of JOCV to be evaluated should be given first in the bracket, please inform us of general information of your organization and respondent, and then proceed to the following questions.

(Name of the Volunteer:

0. Please give us general information on your organization.

(1) Name of Organization	
(2) Name and Position of Respondent	Name Position
(3) Relationship with JOCV	You, who fill in this questionnaire, are/were; 3-1 Director of the Organization 3-2 Boss of JOCV 3-3 Counterpart Personnel working/having worked with JOCV 3-4 Others ()
(4) Place of Organization	Please specify from the following list. 1-1 the Metropolis (Kuala Lumpur) 1-2 Other City 1-3 Rural Area Added to the above, please inform us of whether it is on peninsula or island. 2.1 Peninsula 2.2 Island

1. Effectiveness

(1) Was the work implemented by the JOCV satisfactory for your organization? When you answer, please consider whether there have been positive impacts within your organization or surrounding communities caused by JOCV, e.g. better working attitude, and introduction of hand-washing customs.

- ① Very satisfactory
- ② Satisfactory
- ③ No problem
- ④ Poor
- ⑤ Very Poor

(2) What is the reason for the above choice? Please give us your brief explanation.

(3) What are the factors which facilitated or interfered JOCVs activities? Please specify from the following list, circle either facilitating (F) or interfering (I), and explain it briefly.

- ① Level of Technologies (F / I)
()
- ② Understanding and Support of Your Organization (F / I)
()
- ③ Support System of JICA(F / I)
()
- ④ Working Conditions and Relationship with Colleagues (F / I)
()
- ⑤ Financial Conditions of Your Organization(F / I)
()
- ⑥ Others (F / I)

(

2. Relevance

(1) Is there any other support from other donors than JICA in the same fields as JOCVs in your organization, both for voluntary works and for other forms of support?

- ① No: No cooperation from other donors
- ② Yes: But different in contents/methods and not duplicated
- ③ Yes: Similar in contents/methods, but different in expected effect, thus inter-complementary with JOCV
- ④ Yes: Similar in contents/methods/expected effect, but still needed due to insufficiency in scale
- ⑤ Yes: Similar in contents/methods/expected effect, and duplicated with JOCV

(2) How suitable was TYPE of technology that JOCV provide to your organization?

- ① Perfectly suitable
- ② Relatively suitable
- ③ No problem
- ④ Slightly different
- ⑤ Totally different

・ What is the reason for the above choice?

(3) How was LEVEL of technology that JOCV provide to your organization?

- ① Perfectly suitable
- ② Relatively suitable
- ③ No problem
- ④ Slightly higher or slightly lower
- ⑤ Too high or too low

・ What is the reason for the above choice?

(4) How was the timing of dispatching JOCV

- ① Very Good
- ② Good
- ③ No problem
- ④ Slightly late or slightly early
- ⑤ Too late or too early

・ What is the reason for the above choice?

(5) Was TERM of two years suitable for JOCV activities?

- ① Perfectly suitable
- ② Relatively suitable
- ③ No problem

- ④ Slightly long or slightly short
 ⑤ Too long or too short

・ What is the reason for the above choice?

(6) Did/will your organization make a request for successor of JOCV?

- ① Yes
 ② No

(Reason:.....)

3. Efficiency

(1) Was the number of the C/P suitable for JOCV activities?

- ① Perfectly suitable
 ② Relatively suitable
 ③ Suitable
 ④ Slightly superfluous or slightly insufficient ※
 ⑤ Too much or insufficient

・ For those who chose the latter two attached with ※, could you explain why C/P was not properly arranged in your organization?

(2) How was JOCVs command of language? Would you specify, first, language which JOCV usually used for his/her work, and then give us your answer about the level?

(Language: ①English ②Malay.....)

- ① Excellent
 ② Very Good
 ③ No problem to work with
 ④ Poor ※
 ⑤ Very Poor

・ For those who chose the latter two attached with ※, was there any negative influence for JOCV activities?

4. Impact

(1) Have you got more knowledge or understanding about Japan/Japanese, compared with before you received JOCV?

- ① Yes, very positively
 ② Yes, relatively positively
 ③ No, not specially
 ④ Yes, relatively negatively

⑤ Yes, very negatively

(2) For those who answered Yes , please give us an example to implicate the above choice.

(3) What is the reasons of above choice

(4) Are you in touch with the JOCV even after he/she went back to Japan?

- ① Yes, very often
- ② Yes, sometimes
- ③ Yes, though not so often
- ④ Yes, but rarely
- ⑤ No, not at all

・ For those who answered Yes , how do you keep in touch? If you have any examples of cultural or personal exchanges with them, please refer to them also.

5. Management

How often did you exchange opinions with JOCV?

- ① Very often
- ② Often
- ③ Sometimes
- ④ Rarely
- ⑤ Seldom

6 .Sustainability

(1) How much has your organization improved technologies level by working with this JOCV?

- ①Very much improved
- ②Improved
- ③No change
- ④Not much improved
- ⑤Not improved at all

(2) What is the reason of above choice?

(3) If you chose ① or ②, do you think you can keep the level of activities on your own?

- ① Yes, we can keep it on our own
- ② Yes, and we can keep it on our own IN PART
- ③ No, we cannot keep it on our own

(4) How much has your organization got improvement in working attitudes and/or institutional aspects by

working with this JOCV?

- ① Very much improved
- ② Improved
- ③ No change
- ④ Not much improved
- ⑤ Not improved at all

(5) What is the reason of above choice?

(5) If you chose ① or ②, do you think you can keep those positive changes on your own?

- 0 Yes, we can keep it on our own.
- ② Yes, and we can keep it on our own IN PART.
- ③ No, we cannot keep it on our own

(7) Have you utilized the results of JOCV activities after he/she left your organization?

- ① Yes, very much
- ② Yes, sometimes
- ③ Yes
- ④ No, not so much
- ⑤ No, not at all

(8) If yes, in what way in concrete do you utilize the result? Or if no, could you give us your reasons?

7. Others

(1) What do you think you learn form JOCV?

(2) Would you give us your recommendations on what to do and what not to do in JOCV scheme?

・ what to do

・ what not to do

Thank you very much for your cooperation.

JOCV 調整員へのアンケート

本アンケートは、今後の JICA の青年海外協力隊事業の改善に役立てるためのものです。
ご協力よろしくお願いいたします。

0. ご自身についてお答えください。

(1)お名前	
(2)任国	
(3)配属先事務所	
(4)現地勤務期間	年 月 ~ 年 月

本アンケートは、パート1とパート2から構成されています。
パート1については、隊員ごとにお答えください。また、回答は別紙の回答用紙に記入してください。
パート2については、責任国におけるご経験に基づき、協力隊事業全体についてのご意見を申し上げます。

パート1：各隊員につきお答えください。

隊員名	
職種	

1. 目標達成度

(1) 当該隊員の活動は、効果的に行われたと思いますか？

- ⑤非常に効果的に行われた
- ④かなり効果的に行われた
- ③概ね効果的に行われた
- ②あまり効果的に行われなかった
- ①効果的に行われなかった

(2) (1)のように判断したのはなぜですか？できるだけ具体的な活動例を挙げて説明して下さい。
(以下、記述式の設問には2-3行程度でお答えください。)

(3) 活動を促進した要因及び阻害した要因は何だと思いますか？次の選択肢の中から該当するもの（複数回答可）を選び、促進（促）又は阻害（阻）を選択の上、理由を具体的に記述してください。

- ① 技術的な要素
- ② 協力隊への配属先の理解
- ③ JICAのサポート体制
- ④ 人間関係的な要素
- ⑤ 財政的な要素
- ⑥ 語学能力
- ⑦ その他

(4) 協力隊活動を通じて、当該隊員の態度や考え方などに変化がありましたか？

- ⑤非常にポジティブな変化があった
- ④ポジティブな変化があった
- ③特に変化はなかった

- ②ネガティブな変化があった
- ①非常にネガティブな変化があった
- ・そのように判断したのはなぜですか？

2. 自立発展性

(1) 配属先機関の技術的自立発展性について伺います。配属先機関は、隊員を受け入れたことにより技術的に向上し、今後自分たちで活動を継続していくことができるようになったと思いますか？これまで継続的に複数の隊員を受け入れたことのある機関については、初代隊員受け入れ以降現在までを視野に入れた上でご回答ください。

- ⑤ 技術レベルが向上し、自分たちで活動を継続できるようになった
- ④ 技術レベルが向上し、部分的には自分たちで活動を継続できるようになった
- ③ 技術レベルは向上したが、自分たちで活動を継続するには不十分
- ② 技術的にあまり向上しなかった
- ① 技術的には全く向上しなかった
- ・そのように判断したのはなぜですか？

3. 協力隊活動の運営管理

該当隊員と配属先のC/Pとのコミュニケーションはいかがでしたか？

- ⑤ 非常に良好であった
- ④ 良好であった
- ③ 特に支障はなかった
- ② やや不足していた
- ① 不足していた
- ・そのように判断したのはなぜですか？

JOCV調整員の方へのアンケート

本アンケートは、今後のJICAの青年海外協力隊事業の改善に役立てるためのものです。
ご協力よろしくお願いいたします。責任国におけるご経験につき、以下の質問にお答えください。

0. ご自身についてお答えください。

(1)お名前	
(4)現地勤務期間	年 月 ~ 年 月

1. 中所得国における協力隊事業において特徴的な事柄はありますか？下記の4つの視点に基づき、
1)相手国側の要請の傾向と 2)事務所の方針、3)効果の出方（相手側の満足度、隊員の満足度）についてお答え下さい。

<p>1. 任国内での地域性 首都圏、地方都市、農村、半島部、島部など地域別に特徴があれば記載して下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要請の傾向 ・ 効果の出方（相手側の満足度、隊員の満足度） ・ 事務所の方針
<p>2. 職種(活動分野) 職種により任国に特徴的な傾向があれば記載して下さい。 *1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要請の傾向 ・ 効果の出方（相手側の満足度、隊員の満足度） ・ 事務所の方針

<p>3. 配属先の種類 (教室型、本庁勤務型、試験場型、現場型、巡回型など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要請の傾向 ・ 効果の出方 (相手側の満足度、隊員の満足度) ・ 事務所の方針
<p>4. 隊員に期待される技術レベル 任国での協力隊活動に期待される技術レベルの特徴を記載して下さい。*2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要請の傾向 ・ 効果の出方 (相手側の満足度、隊員の満足度) ・ 事務所の方針
<p>5. その他</p>	

*1、2 : 次の5分野についての派遣実績がある場合には、特に記載をお願いします:

- ①日本語教師 ②スポーツ ③社会福祉 ④環境 ⑤職業訓練

2. 協力隊活動を実施する上での問題は何ですか? 特に、中所得国に特徴的なものはありますか?

3. 今後、中所得国で協力隊事業を実施していく場合、考慮すべき方向性につきご意見がありましたらお願いします。

4. 協力隊事業には、技術協力以外に青年育成や国際相互理解・交流などの効果も期待されていますが、中所得国においてはこうした点においてどのような効果が上がっていますか？

5. また、こうした効果をさらに向上するために考慮すべき点がありますか？

6. 貴任国に派遣される隊員の場合、元々持っていた協力隊のイメージと実際の活動にギャップを持つことはありますか？ある場合、そのギャップはどのように活動に影響を及ぼすと思いますか？

7. 今後、任国において隊員が活躍しやすい分野、配属先、地域、形態はどのようなものだと思いますか？

8. 総括

(1) 隊員受け入れの経験から今後も青年海外協力隊事業においてする方がよいこと、或いはするべきではないことを教えてください。

- ・ する方がよいこと

- ・ するべきでないこと

(2) その他何かコメントがありましたらお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

7. 過去の協力隊評価実績

1. 協力隊事業評価の体制

現在協力隊事業に対して行われている評価は以下のとおりである（実績については別表参照）。

(1) 協力終了時の評価（協力隊事務局主管）

- 1) 隊員業務計画書、報告書個人評価：隊員報告書の一部、隊員自身による活動目標、計画、達成度に対する自己評価
- 2) 隊員総合所見：帰国隊員の進路支援を目的として、隊員活動内容等について JICA 事務所による評価
- 3) チーム派遣の終了時評価：PCM 等の評価手法を用い、評価 5 項目を用いてプロジェクトレベルでの評価を実施。すべてのチーム派遣に対して終了時評価調査が行われている。

2. 事後評価（企画・評価部評価監理室主管）

- 1) 有識者評価（第三者評価）：国内有識者の視点からの評価。過去に多数行われたほか、外務省の実施する有識者評価においても協力隊評価が行われている。
- 2) 事後評価：国別評価、特定テーマ別評価など、評価対象国、対象テーマといった包括的な JICA の協力事業の中の一部としての協力隊員の活動について評価。

*事後評価にて協力隊評価を行った際の評価方法のまとめは別紙のとおり。

事例1 メキシコ国別評価

1. 評価の目的：他の協力形態と比較可能な形で協力隊事業の効果の発現の度合いを調べるため、評価5項目のうち自立発展性を除く4項目について隊員活動の評価を実施。
2. 評価対象者：1999年度までに帰国した全隊員28名のうち、日・墨いずれかから回答のあった21名
3. 調査方法：配属先アンケート（20）、帰国隊員アンケート（6）、帰国隊員報告書（17）
4. 特徴：
 - (1) 以下の調査項目に対し5段階の評価基準を設け（大変良い、良い、概ね妥当、悪い、非常に悪い）、評価結果を数字で記述した（以下レーティングと表記）

評価項目	主な調査項目
目標達成度	技術的な目標達成度、隊員の間人形成・成長、配属先の満足度
計画の妥当性	メキシコ側のニーズ、配属先の適切性、活動計画の具体性、派遣時期・期間の適切性
効率性	隊員の語学力、隊員の知識・経験・能力、C/P数の適切さ、C/Pの能力
インパクト	隊員本人の経験の活用度、配属先の経験の活用度

- (2) 評価結果のまとめ方

各評価項目毎に、平均値を用いて考察した。必要に応じて、隊員側の平均とメキシコ側の平均値を比較。個人の評価結果の記載：なし。分野別の比較：なし。

事例2 特定テーマ評価（JOCVによるカンボディア職業訓練）

1. 評価の目的：カンボディアの職業訓練分野に関し、過去の協力隊員の活動についてDAC評価5項目の観点から評価を行うとともに、評価結果から同分野における協力隊協力目標の効率的な達成等に向けて「案件の発掘・形成」、「協力隊員への支援」等の改善に係る教訓を導き出す。
2. 評価対象者：職業訓練分野に派遣された11名の協力隊員のうち、派遣期間を終了した10名（全員が2つの職業訓練センターのいずれかに派遣されている）
3. 調査方法：配属先インタビュー（2機関）、帰国隊員アンケート（10名）、帰国報告書（10）
4. 特徴：
 - (1) 個人の活動について評価5項目に基づいて評価を実施。協力隊員自己評価欄と

配属先 C/P 評価欄、訓練生からの評価結果を分けて文章で記載し、各者の意見を総合した評価 5 項目と総合評価を文章で記載。

例

評価項目	調査項目
効率性	活動目標、活動阻害要因、活動促進要因、JICA の支援に対する評価、地方公共団体研修、機材供与
目標達成度	A~C の 3 段階で評価（隊員自己評価、配属先のみ）
直接・間接効果	就職、間接効果
妥当性	職業訓練分野への派遣の妥当性、派遣職種の妥当性、派遣先選択の妥当性
自立発展性	
総合評価	

(2) 報告書でのまとめ方：

- 1) 配属先のセンター別の評価 5 項目に基づいた評価結果のまとめ
- 2) 評価対象者全員を対象とした「効果（国際理解の促進、国際協力の国内的理解の促進・人材拡大、青年の育成）」についての評価結果のまとめ

事例 3 特定テーマ評価 タイ障害者支援

- (2) 評価の目的：タイの障害者支援分野における JICA の過去の協力について評価を行うとともに、今後の協力の改善に係る教訓・提言を導き出し、将来の協力にフィードバックする。
- (3) 評価対象者：過去に障害者支援組織を目的として派遣された隊員 10 名（シニアボランティア含む）（他、プロ技、無償、研修員、専門家、草の根無償等）
- (4) 調査方法：配属先へのアンケート（9 機関）、派遣中隊員との意見交換会、帰国報告書レビュー
- (5) 特徴：
 3. 個人別評価：なし
 4. 報告書のまとめ方：調査方法別
 - (1) 受け入れ先アンケート結果のまとめ
 - (2) 隊員との意見交換会のまとめ

過去にJICAにおいて実施された協力隊事業の評価実績

国名	年度西暦	年度和暦	案件名	評価対象	在外/本邦	終了時/事後	事後評価の種類
エジプト	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
エティオピア	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
ケニア	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
タンザニア	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
パラグアイ	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
フィリピン	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
ホンデュラス	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
マレーシア	1985	60	青年海外協力隊活動	JOCV	本邦	事後	第三者評価
ネパール	1986	61	ポカラ水産開発センター	JOCV	本邦	事後	第三者評価
ザンビア	1989	1	青年海外協力隊活動	JOCV	在外	事後	
タイ	1993	5	アユタヤ教員養成大学	JOCV	本邦	事後	第三者評価
バングラデシュ	1993	5	技術訓練センター	JOCV	在外	事後	
タンザニア	1994	6	理数科教師	JOCV	在外	事後	
バングラデシュ	1994	6	青年海外協力隊	JOCV	在外	事後	
ホンデュラス	1994	6	青年海外協力隊事業	JOCV	在外	事後	
中国	1994	6	看護婦	JOCV	本邦	事後	第三者評価
中国	1994	6	日本語、果樹、工業デザイン	JOCV	本邦	事後	第三者評価
ガーナ	1995	7	教師隊員	JOCV	本邦	事後	第三者評価
スリ・ランカ	1995	7	青年海外協力隊事業	JOCV	在外	事後	
ホンデュラス	1995	7	教育分野	JOCV	本邦	事後	特定テーマ評価
カンボディア	1996	8	UNOPSとの合同評価(三角協力) 農村開発	JOCV	本邦	事後	合同評価
タイ	1996	8	バンコク周辺隊員	JOCV	本邦	事後	第三者評価
ネパール	1996	8	(基礎教育) 協力隊活動	JOCV	本邦	事後	特定テーマ評価
ネパール	1996	8	カトマンドゥ周辺隊員	JOCV	本邦	事後	第三者評価
タイ	1996	8	山岳民族自立のための開発プログラム	JOCVチーム派遣	本邦	事後	第三者評価
パプア・ニューギニア	1997	9	テプテプ野菜プロジェクト	JOCV	在外	事後	
カンボディア	1998	10	NGOとの合同評価(外務省) 農村開発プロジェクト(三角協力)	JOCV	本邦	事後	合同評価
ケニア	1998	10	(野生動物保護) 自動車整備	JOCV	本邦	事後	特定テーマ評価
ケニア	1998	10	農業分野	JOCV	本邦	事後	第三者評価
サモア	1998	10	協力隊活動	JOCV	在外	事後	
スリ・ランカ	1998	10	(WID/ジェンダー) スラム生活改善プロジェクト	JOCV	本邦	事後	特定テーマ評価
サモア	1998	10	シニアボランティア活動	シニアボランティア	在外	事後	
インドネシア	1999	11	南スラヴェシ州パル県地域総合開発	JOCVチーム派遣	本邦	終了時	
エルサルバドル	1999	11	国立工業高校	JOCV	在外	事後	
カンボディア	1999	11	職業訓練	JOCV	本邦	事後	特定テーマ評価
コスタ・リカ	1999	11	環境に優しいプロジェクト	JOCV	在外	事後	
ポーランド	1999	11	日本語教師	JOCV	在外	事後	
タイ	1999	11	障害者支援	JOCV、無償、プロ技	本邦	事後	特定テーマ評価
メキシコ	1999	11	JICAの協力案件全般	全てのスキーム	本邦	事後	国別評価

フィリピン	2001	13	理数科教師訓練センタープロジェクト	JOCVチーム派遣	本邦	終了時	
ニジェール	2000	12	カレゴロ緑の推進協力プロジェクト	JOCVチーム派遣	本邦	終了時	
コスタ・リカ	2000	12	環境に優しい農業プロジェクト	JOCVチーム派遣	本邦	終了時	
マレーシア	2000	12	中所得国における協力隊事業	JOCV	本邦	事後	特定テーマ評価
フィリピン	2001	13	理数科教育向上プロジェクト（フォローアップ）	JOCVチーム派遣	本邦	終了時	
タイ、フィリピン、マラウイ、セネガル	2001	13	協力隊チーム派遣	JOCVチーム派遣	本邦	事後	特定テーマ評価

外務省により実施された評価

国名	実施西暦年度	実施年度	プロジェクト名	協力形態	評価形態
タイ	1995	7	山岳民族自立支援	JOCV	有識者評価
タンザニア	1995	7	緑の推進協力プロジェクト	JOCV	国別評価
ドミニカ共和国	1995	7	青年海外協力隊活動	JOCV	有識者評価
トンガ	1995	7	青年海外協力隊	JOCV	有識者評価
フィジー	1995	7	青年海外協力隊	JOCV	有識者評価
ホンデュラス	1995	7	青年海外協力隊活動	JOCV	有識者評価

8. 参考文献

関連資料

- ・「ボランティア事業への国別・地域別アプローチの適用調査研究報告書」、国際協力事業団青年海外協力隊事務局、2001年3月
- ・「青年海外協力隊員が海外で直面した活動上の障害要因の分類」、徳山道子、国際開発学会「国際開発研究」第8巻第1号、1999年 pp65-79
- ・「日本語教育国際支援における教師派遣協力をめぐる課題—テュニジアへの協力隊日本語教師派遣を事例として—」徳山道子、国際開発学会「国際開発研究」第9巻第1号、2000年、pp96-78

協力隊関連報告書

- ・「マレーシア 日本語教師隊員 巡回指導調査報告書」、1997年2月、国際協力事業団青年海外協力隊事務局
- ・「マレーシア レジデンシャル・スクール日本語教師隊員活動中間報告書」、1992年1月、国際協力事業団青年海外協力隊事務局
- ・「平成10年度青年海外協力隊 巡回指導報告書（ルーマニア、ポーランド）」平成10年6月28日～7月11日、国際協力事業団青年海外協力隊事務局
- ・「タイ日本語教師隊員巡回指導調査団報告書」、1999年2月、国際協力事業団
- ・「タイ・マレーシア日本語教師調査団報告書」1995年4月、国際協力事業団青年海外協力隊事務局
- ・「青年海外協力隊現地巡回指導報告書（技術顧問（加工・保守操作分野）坂本俊治）1992年10月、国際協力事業団青年海外協力隊
- ・「マレーシア スポーツ分野要請背景調査団報告書」 1997年12月国際協力事業団青年海外協力隊事務局
- ・「2000年度 JOCV 日本語教師報告書～RS 日本語教育の変遷と派遣一時休止の波形～」,2000.4 青年海外協力隊マレーシア日本語教師隊員

評価報告書

- ・「メキシコ国別事業評価」国際協力事業団企画・評価部、2000年10月
- ・「タイ障害者支援」国際協力事業団企画・評価部、2000年10月